

市内13河川14地点において令和5年9月、11月に調査を実施し、9月の調査ではおおむね良好な結果となりました。11月の調査では、水量の低下により9月の調査と比べ、若干水質判定が下がっている地点があったものの、おおむね良好な状況は継続されています。今後も継続的な調査により、河川の水質状況の監視を行ってまいります。

水質調査結果

河川名	測定点	採水日			
		令和5年9月29日		令和5年11月28日	
		BOD [mg/L] ※1	判定 ※2	BOD [mg/L] ※1	判定 ※2
谷戸川	下流(宗光寺川合流点上流)	0.9	AA	0.9	AA
鍋沢川	上流(鍋沢ふれあい公園付近)	0.6	AA	1.1	A
江間川	下流(矢崎ひ管前)	1.6	A	2.7	B
	下流(江間ひ管前)	1.5	A	2.7	B
長岡川	下流(大堤川合流前)	1.2	A	2.5	B
大堤川	下流(長岡川合流前)	1.3	A	1.1	A
別所川	下流(長岡川合流前)	1.1	A	1.2	A
堀之上川	上流(楠用水ポンプ場南側)	2.7	B	4.9	C
古奈川	下流(古奈ひ管口)	0.6	AA	1.7	A
天野原川	下流(堰口ひ管前)	1.3	A	1.4	A
葦山古川	中流(南條橋付近)	2.4	B	0.8	AA
洞川	上流(南條真如入口付近)	1.2	A	1.8	A
堂川	下流(長崎堂川排水機場)	0.9	AA	1.6	A
舟口川	下流(舟口ひ管下流)	1.1	A	1.2	A

※1 BODとは？

BODとは、水中の微生物が、水に存在する汚れの物質を分解する際に消費する酸素の量(生物化学的酸素要求量)のことです。汚れがひどいほどたくさんの酸素を必要とするため、値が大きいほど水が汚れていることになります。

※2 判定基準値は下表のとおり
(環境省『生活環境の保全に関する環境基準(河川)』による)

BOD濃度	基準	慣用語
～1mg/L	AA	非常にきれい
～2mg/L	A	きれい
～3mg/L	B	比較的きれい
～5mg/L	C	やや汚れている
～8mg/L	D	特に汚れている
～10mg/L	E	非常に汚れている



Information お知らせ

市内の川の水はきれい？

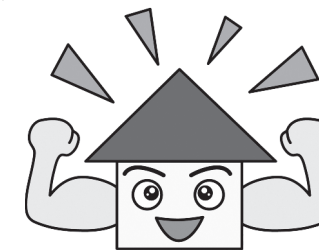
市内河川の水質調査結果

環境政策課
☎ 0558-76-8002

市では環境保全に関する取り組みの一環として、定期的に市内河川の水質調査を実施しています。令和5年度は9月と11月に調査を実施しました。その結果をお知らせします。

●プロジェクト「TOUKAI-0」が終了します！ 耐震対策はお早めに！

市では、国や県と協力して推進している木造住宅の耐震化を図るプロジェクト「TOUKAI(東海・倒壊)-0(ゼロ)」の一環として、耐震補強計画・補強工事の費用、耐震シェルター・防災ベッド設置の費用を補助してきました。



無料の専門家診断は令和6年度まで、耐震補強計画・補強工事の補助は令和7年度までで終了します。耐震化を検討している人は、お早めにご相談ください。

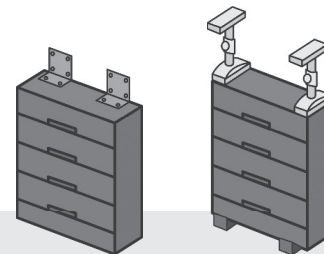
対象／市内にある昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅で、居住のために継続して利用している住宅(空き家・別荘は除く)

わが家の専門家診断(無料)
【令和6年度まで】

補強計画の作成および
補強工事の実施
【令和7年度まで】

【補助額】

事業に要する経費の8割と100万円(高齢者のみが居住する住宅などについては120万円)を比較し、いずれか少ない額。



●家庭内家具の安全対策

地震による負傷原因の3割～5割は、家具類の転倒や落下によるものです。市では、対象世帯、1世帯につき6台まで、家庭内家具の固定を無料で実施します。

対象／以下のいずれかに該当する世帯

- 65歳以上の人のみで構成されている世帯
- 障害の程度が1・2級の人がある世帯
- 要支援・要介護の人がある世帯

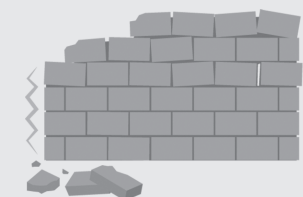
耐震シェルター・
防災ベッドの設置

【補助額】

事業に要する経費の5割とそれぞれの補助上限金額(耐震シェルター：125,000円、防災ベッド：150,000円)を比較し、いずれか少ない額。
※住宅の1階部分への設置となります。
※耐震シェルターの設置については、65歳以上の高齢者のみで構成されている世帯、もしくは避難行動要支援者名簿に記載された避難行動要支援者のいる世帯が住む住宅であることが必要です。

●ブロック塀などの撤去・改善

地震発生時のブロック塀などの倒壊や転倒による被害を防ぐため、道路に面した危険性のあるブロック塀などの撤去・改善する費用を補助します。補助額などの詳細は市HPをご覧ください。



Information お知らせ

災害から身を守る

地震に備えよう

危機管理課
☎ 055-948-1482

今年1月に発生した能登半島地震の通り、地震は大雨や台風とは違い、備える時間も早く発生します。そのため、平日の準備が重要です。大きな被害の発生を防ぐために、事前に身の回りを確認し、安全対策をおこなってください。



▲市HP